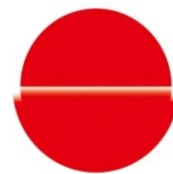


Niigata Award News

(食の新潟国際賞財団通信)

2022/12/20

第45号(表彰式特集号)



Niigata Award

全日程

11月28日(月) 表彰式リハーサル、理事長主催夕食会

11月29日(火)

市長表敬、表彰式・受賞者記念講演(朱鷺メッセ)、
祝賀交流レセプション(ホテル日航新潟)

11月30日(水) 受賞者市内視察

第7回食の新潟国際賞表彰式典開催

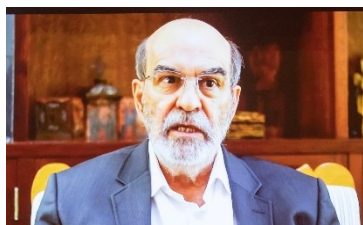


正賞モニュメントを手にする受賞者5名

(左より:齋藤和樹氏、中村丁次氏、小沼廣幸氏(ジョゼ・グラジアノ・ダ・シルバ氏代理)、中山輝也氏、伊藤親臣氏)

第7回食の新潟国際賞表彰式典、記念講演および祝賀交流レセプションが令和4年11月29日(火)に開催されました。

日本で唯一の、食の分野における国際賞の表彰式は、各界から数多くの御来賓のご出席のもと、厳粛かつ賑やかに開催されました。表彰式をはじめ記念事業の模様をお伝えいたします。



大賞を受賞した ジョゼ・グラジアノ・ダ・シルバ氏



表彰式の様子

第7回食の新潟国際賞表彰式



表彰式には約120名の御来賓や財団関係者が出席し、厳かに開会されました。

第7回食の新潟国際賞選考委員会の唐木英明委員長(食の信頼向上を目指す会 代表)から選考の経緯が報告され、池田 弘財団理事長から「大賞」と「佐野藤三郎特別賞」の表彰が、財団副理事長の中原ハ一新潟市長から「21世紀希望賞」と「地域未来賞」の表彰が行われました。各受賞者に対し、表彰状ならびに正賞トロフィーの他、副賞として大賞には500万円(受賞者が2名のため規定により1,000万円を分割)、佐野藤三郎特別賞、21世紀希望賞、地域未来賞には100万円の目録の贈呈が行われました。

表彰式では御来賓の農林水産省輸出・国際局審議官 谷村栄二様(代理、輸出・国際局国際専門官 根本 茂様)、国際連合食糧農業機関(FAO)駐日連絡事務所所長 日比絵里子様、独立行政法人国際協力機構(JICA)上級審議官 窪田 修様、そして、新潟市長中原ハ一様からそれぞれご祝辞をいただきました。

また、お祝いのメッセージをWFP国際連合世界食糧計画 日本事務所 代表 焼家直絵様、駐日ブラジル連邦共和国大使オタヴィオ・エンヒッケ・ジラス・ガルシア・コステス様よりいただきました。



唐木 英明 選考委員長



根本 茂 様



日比 絵里子 様



窪田 修 様



鈴木 伸作 常務理事



正賞のトロフィーは、新潟県佐渡市出身の世界的な金属工芸作家で、前文化庁長官の宮田亮平先生制作の「シュプリングン」です。

テーマは「跳躍。そして希望」。未来に向かって2頭のイルカが力強く宙を舞います。



中原 ハ一 新潟市長

受賞者記念講演

表彰式に続いて記念講演会が行われ、受賞者はこれまでの活動と成果を発表しました。大賞を受賞したジョゼ・グラジアノ・ダ・シルバ氏はビデオで講演を行いました。



表彰式・受賞者記念講演会の様子はYouTubeでライブ配信されました。
(※記念講演の内容は次号で詳報する予定です)

大賞＝ジョゼ・グラジアノ・ダ・シルバ 氏 (ブラジル・イタリア)

国際連合食糧農業機関(FAO)前事務局長
ゼロハンガー研究所 所長

ブラジルをFome Zero(ゼロハンガー)運動により飢餓を根絶した指導者。FAO(国連食糧農業機関)の事務局長として、世界のゼロハンガー運動を主導し、世界の飢餓の撲滅に大きな成果をあげた。飢餓ゼロは国連のSDGsの17の目標にも盛り込まれた。



大賞＝中村 丁次 氏 (日本)

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 学長
公益社団法人日本栄養士会 代表理事 会長

日本が世界に誇る栄養学のリーダーとして、学校給食の栄養基準や栄養教諭の創設、食育基本法の制定等日本の学校給食の基礎を作った。東南アジアでの指導や研修生の受け入れを通じて、栄養学や栄養教育の普及に努め、国際的にも高い評価を得ている。



佐野藤三郎特別賞＝中山 輝也 氏 (日本)

株式会社キタック 代表取締役会長

中国黒龍江省三江平原の農業開発プロジェクトに佐野藤三郎氏に師事し計画当初から技術者として参加、プロジェクトの成功に大きな役割を果たした。現在も現地の技術研修生の受け入れや近隣諸国との国際交流推進役として活躍している。



21世紀希望賞＝齋藤 和樹 氏 (日本)

アフリカライスセンター 主席研究員

アフリカの食料自給率向上の為、新育種材料の発見・選抜手法の開発等の研究を通じてアフリカのイネ育種事業に大きく貢献した。また、小規模農家の稲作営農システムの整備や集約、農家の生計、栄養改善にも大きな成果をあげた。



地域未来賞＝伊藤 親臣 氏 (日本)

株式会社 SnowBiz 代表取締役

雪のエネルギー利用の研究に取り組み、雪冷熱エネルギーの実用化と多用途利用を実現させた先駆者であり、利雪事業に大きく貢献した。食品の雪室貯蔵による商品開発は新潟県食品産業の新たな発展が期待できる。



受賞祝賀交流レセプション



新潟県知事 花角 英世 様

表彰式、記念講演会に続いて行われた 受賞祝賀交流レセプションには、新潟県知事花角英世様はじめ、新潟市副市長の野島晶子様、中華人民共和国駐新潟総領事館副総領事の殷 達奇様、新潟市議会議長古泉幸一様など、105名の方々からご出席いただき開催されました。

大きな拍手の中、受賞者が入場しステージに登壇。財団副理事長で亀田製菓(株)取締役シニアチェアマンの田中通泰副理事長が開会の挨拶を行い、新潟市の野島晶子副市長の乾杯で祝賀会が開宴されました。

御来賓の方々からご祝辞をいただきました。

- ・ 新潟県知事 花角 英世 様
- ・ 新潟経済同友会 代表幹事 吉田 至夫 様
- また、次の方々からスピーチをいただきました。
- ・ (一社)アジア自立支援機構代表理事 小沼 廣幸 様
- ・ 正賞制作者・前文化庁長官 宮田 亮平 様

さらに、受賞者によるスピーチや、受賞者のご家族の紹介も行われるなど、和やかな雰囲気の中でお祝いと交流が進みました。

閉会のご挨拶を兼ねて当財団理事でサトウ食品(株)の佐藤 功相談役会長が、財団および賛助会を代表して感謝のスピーチを述べ、めでたくお開きとなりました。

なお、乾杯酒は財団賛助会員の日本酒「越乃寒梅」「麒麟山」「八海山」で行われました。



田中 通泰 副理事長



吉田 至夫 代表幹事



野島 晶子 副市長



佐藤 功 理事



小沼 廣幸 様



宮田 亮平 様



新潟市長 表敬訪問



11月29日午前、表彰式を前に受賞者は、池田理事長同行のもと、中原八一新潟市長を表敬訪問しました。

表敬訪問は、新潟市役所の市長応接室で終始和やかな雰囲気の中で行われました。

中原市長からは各受賞者へのお祝いの言葉と、食の新潟国際賞の創設意義、また、新潟の歴史や背景などの紹介がありました。

受賞者からは、それぞれの喜びと、これまでの活動の取り組みが語られ、今後、国際賞の受賞を契機に、さらに活動を続けたいという挨拶がありました。



新潟市内視察

受賞者とそのご家族は11月30日に新潟市内視察を行い、「栗山米菓ばかうけファクトリー」と「親松排水機場」を視察しました。

(株)栗山米菓では見学コースから機械化された工場で次々と生産される人気商品「ばかうけ」の生産工程を感心しながら楽しく見学しました。

親松排水機場では、信濃川と阿賀野川、そして小阿賀野川に囲まれた亀田郷は約2/3の面積が日本海の潮位より低い土地で、かつては「地図にない湖」と呼ばれた低湿地帯だったこと。鳥屋野潟に集められた水を常に排水機場で汲み出していること。当初は主に農業地用の排水機場であったが現在は住宅地が増え、約25万人の住民の生活に必要な施設であることなど説明を受けました。

そして、低い土地から、水位の高い信濃川に水を汲み上げる巨大な羽根車のついたポンプの機械や制御室等を興味深く見学しました。



「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト 決勝大会 開催

県内の大学等に通う学生を対象に、新潟の食品産業や農業及び関連産業の課題解決と、持続可能な産業として、さらに大きく発展するためのアイデアや画期的な提案を競う、「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテストの決勝大会が11月5日(土)、新潟市の開志専門職大学大教室で開催されました。

この大会は、若い人達の食料関連産業への関心の拡大と、財団との交流を深めるために、食の新潟国際賞財団が初めて開催しました。自由テーマで、36チームの応募があり、書類審査を通過した10チームが決勝大会に臨みました。決勝大会はプレゼン8分、質疑応答7分という制限時間で真剣かつ熱のこもった発表が行なわれました。

審査委員12名の厳正な審査の結果、グランプリには、油脂酵母を利用して食品廃棄物から食品の生産に必要な油脂を再生する取り組みを提言した、新潟薬科大学大学院のOUBIチームが輝きました。準グランプリには、新潟県を拠点とした複合サービス企業の実現を提案した、新潟薬科大学のAGRI WOMANと、花酵母を抽出して食品の魅力付けに活用することを提案した、長岡工業高等専門学校のおいしさ革命団チームが選ばれました。



グランプリ(中央)、準グランプリ(左右)獲得の3チーム



主催者挨拶 池田 弘 理事長



実行委員長挨拶
新潟大学農学部 西海理之 教授



講評:審査委員長 眞島 操 氏(新潟県農業総合研究所 所長)

眞島 操 審査委員長は講評で、「新潟県は農と食の産業が非常に充実した県であり、その規模は合わせると1兆円を超える産業でとても重要だ。プレゼンをして頂いた学生さんが、できることなら将来新潟県で活躍して、食と農の発展に協力して欲しい」と期待を語りました。

意見交換会

表彰式終了後に、参加した学生とコンテストの実行委員、審査委員の方々と意見交換が行われました。

学生から次々と出される質問に、企業の関係者や大学の先生らが答えるなど、参加した学生の積極性が目立つ充実した意見交換会となりました。



特別賞は、審査委員特別賞が1チーム、協賛社の社名を冠した協賛社特別賞に6チームが選ばれ表彰されました。

なお、作品応募した全チームに協賛社の商品の詰合せセットが贈られ、大きな箱にぎっしり入った米菓やお菓子、パックご飯やおもち、おでん等の食品に学生たちもたいへん喜んでいました。



決勝大会の結果

賞	チーム名	テーマ	大学
グランプリ	OUBI	油脂酵母Lipomyces starkeyi による食品廃棄物を利用した油脂生産	新潟薬科大学大学院
準グランプリ	AGRI WOMAN	新潟県を拠点とした複合サービス企業	新潟薬科大学
準グランプリ	おいしさ革命団	花酵母で新潟の食に彩を	長岡工業高等専門学校
審査委員特別賞	お弁当ぱくぱくチーム	スマートミールでバランスよく食べてみる！	新潟医療福祉大学
亀田製菓(株)特別賞	チームまさる	新潟県におけるプラントベースフード市場の開拓の可能性	新潟県県立大学
(株)ブルボン特別賞	雪室バイテクプロジェクト	雪室から持続可能な新しい社会への価値観	新潟大学大学院
一正蒲鉾(株)特別賞	再生可能エネルギー研究部	資源循環型農業のすゝめ	新潟工科大学
サトウ食品(株)特別賞	ミックスジュース	織り成すニイガタのプラットフォームづくり	新潟薬科大学
(株)栗山米菓特別賞	S.T.Hプロジェクト	S.T.H.ファーム ～新潟の食と農のブランディングの提言～	新潟食料農業大学
(公財)古泉財団特別賞	FSBグループ	昆虫食をリガーレフードへ	新潟食料農業大学

大会は来年も開催される予定です



特別賞の表彰を受けた7チーム

公益財団法人 食の新潟国際賞財団 賛助会員

(令和4年12月現在)

(敬称略・順不同)

● 特 別 会 員

亀田製菓(株)
一正蒲鉾(株)
(株)第四北越銀行
(株)新潟日報社
亀田商工会議所
にいがた22の会

(株)ブルボン
サトウ食品(株)
(株)栗山米菓
(株)新宣
(株)新潟クボタ
(株)日本食糧新聞社

(学)新潟総合学園
新潟県農業協同組合中央会
亀田郷土地改良区
(株)エイケイ
NST新潟総合テレビ
五十嵐建設工業(株)

● 正 会 員

新潟市農業協同組合
新潟県信用組合
(株)第一印刷所
(株)本間組
石本酒造(株)
(株)ミカサ
神山物産(株)
ハセガワ化成工業(株)
藤屋段ボール(株)
(株)タケショー
(株)新潟博報堂
BSN新潟放送
新潟陸運(株)
(株)新潟食品運輸
月島食品工業(株)
(株)ニッポン関東支店

日本甜菜製糖(株)
(株)鳥梅
新潟工科大学産学交流会
(株)キタック
北越工業(株)
丸榮製粉(株)
鍋林(株)ヘルスフーズ事業部
TeNYテレビ新潟放送網
(株)栗田工務店
三和薬品(株)
松田産業(株)
セッツカートン(株)新潟工場
東邦産業(株)
麒麟山酒造(株)
(株)加島屋
(株)日本フードリンク

(株)ディモルギア
UX新潟テレビ21
イカリ消毒(株)
新潟工科大学
(株)日本旅行新潟支店
(株)田中組
(医)愛仁会 亀田第一病院
(株)ひらせいホームセンター
ワタキューセイモア(株) 新潟営業所
(株)エヌエスアイ
(株)トップライズ
(株)ウオシヨク
(株)ヤマダ
(株)新潟国際貿易ターミナル
八海醸造(株)
(株)荏原製作所 北陸支社

● 個 人 会 員

古泉 肇	藤島 安之	和田 充彦	高畑 昭文	廣瀬 利雄	山口 勉	高橋 常考	田村 敏郎
杉本 克己	近藤 鴻	大川 秀雄	大倉 正寿	吉岡 謙一	古口 日出男	坂田 武利	門脇 基二
大谷 勝男	佐藤 久栄	田中 敏明	青木 清	阿部 徳威	佐藤 勉	佐藤 清一	野上 文彰
板井 茂	浅井 善広	清水 良一	田中 作一	新保 房機	古泉 榮三	佐藤 純	倉嶋 則昭
塚本 太一	大越 斎	野口 正晴	酒井 定勝	齋藤 秀明	松本 裕志	當野 篤	高山 利夫
久保田 紳一	河瀬 三千夫	和澄 孝男	五十嵐 修	望月 健三郎	山田 雄治	鈴木 正二	竹石 松次
古泉 幸代	大森 ゆかり	高橋 慶三	阿部 昭一	渡邊 信也	宇野 勝雄	赤塚 義廣	坂井 俊一
鈴木 伸作	佐藤 銀治郎	加藤 寿一	石附 由美子	齋藤 博文	齋藤 幸広	田辺 俊文	小田 静二
渡邊 徹	中村 好彦	栗田 浩	栗田 朋子	阿部 文仁	高尾 茂典	五十嵐 豊	久代 勝英
古泉 幸一	加藤 純子	高倉 広利	清水 泰成	中野 節子	阿部 愛子	大島 照美子	宮口 澄子
青木 太華子	佐藤 金治郎	五十嵐 康子	五十嵐 早苗	佐藤 文男	高橋 征男	高橋 克郎	田村 泰生
山崎 尉生	中村 雪絵	村山 浩太郎	稲葉 晋	川崎 千春	秋山 正之	松川 忠史	濱野 剛
小川 善弘	池田 祥護	星野 幸三	糸満 盛人	伊豆 智	小林 哲也	岡田 茂久	遠山 幸男
小野 隆樹	大橋 祐貴	前田 穰	桐原 隆晃	長井 基樹	岸田 良満	中村 健一	小林 宏志
柳澤 敏郎	遠藤 俊介	葉葦 正幸	津島 章彦	舟崎 義朗	小川 陽一	大日方 聡	宮下 好文
坂田 浩一	田中 雅史	藤間 佑輔	品田 卓也	渋谷 政道	村山 雄亮	北爪 文義	近藤 正
高橋 佑	荒井 弘美	重泉 篤史	本間 康弘	中野 克之	高橋 誉	最上 正人	石田 勇介
佐藤 正尚	下條 幸二	廣川 正通	小谷 尚志	高橋 道映	田中 弼	佐藤 浩晃	村山 和恵
小林 達	佐藤 善昭	酒井 栄一郎	佐藤 聡	小林 守	阿部 欣也	杉谷 浩一	佐々木 一
金田 季之	宮島 泰	高崎 俊哉	小平 勝志	藤田 正明	池田 一史	宮嶋 一博	小嶋 孝代
渡邊 雄一郎	駒形 正明	阿部 貴美	大沼 成勝	丸山 智史	岡田 龍	小野 隆樹	田邊 威
高橋 大介	伊藤 雅明	秋堂 春美	田中 義夫	長谷川 克弥	山口 穰	田中 湖雄	牧 利幸

「食の新潟国際賞」は新潟市の補助金を受けて実施しています。